

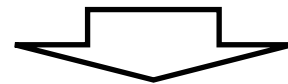
紀の川河川整備計画について (河川整備対策)

平成14年6月12日

近畿地方整備局

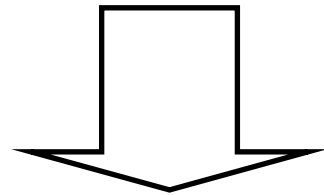
河川整備計画の目標流量検討の流れ

対象洪水の選定(16洪水→6洪水選択)



・紀の川流域における雨の降り方

計画雨量と降雨パターンの組み合わせによる流出解析結果より
大中小の3洪水をピックアップ



①S36.9型洪水(伊勢湾実績雨量×0.8)

②S34.9型洪水(伊勢湾実績雨量×1.0)

③S47.9型洪水(伊勢湾実績雨量×1.1)

大滝ダム洪水調節(2,500m³/s一定放流)を想定



現在の河道状況での氾濫状況等を概観



(今回)

各洪水規模における河川整備量、課題の抽出



(今回)

各洪水規模毎の紀の川の危険箇所を概観

今回検討した資料の構成

1. 概略的な河川整備の考え方について

今回、検討する概略的な河川整備の考え方、条件について説明。

2. 各洪水規模における河川整備量、課題等の抽出

前回抽出した以下の洪水規模における必要な河川整備量、整備効果、課題等を氾濫現象から抽出。

2-1昭和34年9月型(伊勢湾実績降雨×1.0)洪水

2-2昭和36年9月型(伊勢湾実績降雨×0.8)洪水

2-3昭和47年9月型(伊勢湾実績降雨×1.1)洪水

3. 各洪水規模毎の危険箇所概観

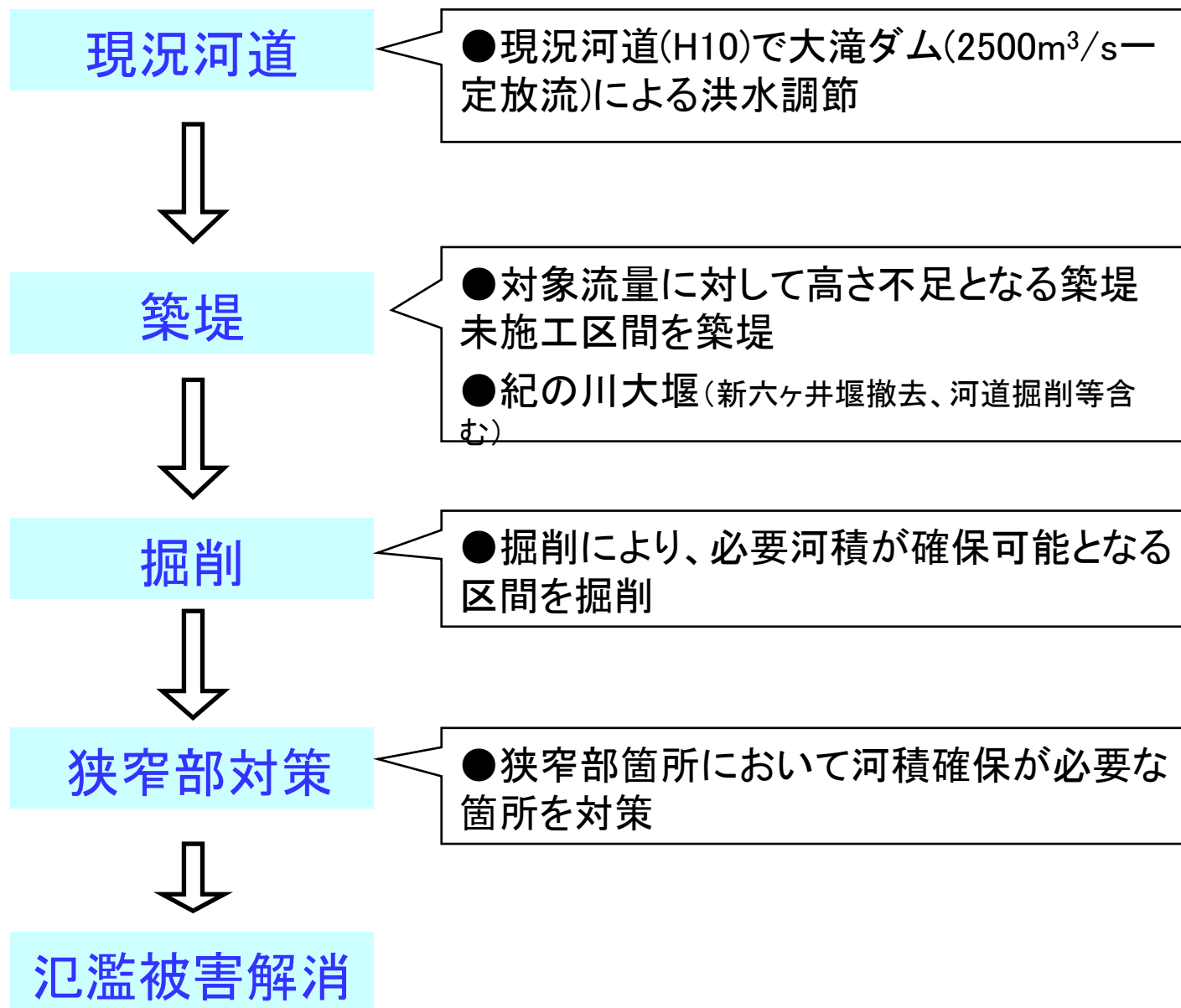
一定エリア毎の洪水規模、整備段階の違いにおける氾濫状況から主な危険箇所を抽出。

1. 概略的な河川整備の考え方

概略的な河川整備の考え方(1)

これまで検証した洪水パターンにおける概略的な河川整備の検討として、築堤(紀の川大堰事業含む)、掘削整備段階における効果を検証することとしました。

概略的な河川整備の考え方(2)



築堤



築堤必要箇所例(五條市牧地先)



築堤必要箇所例(高野口町向島)

河道掘削

小豆島上流付近(右岸側)



狭窄部対策



概略的な河川整備の検討(3)

概略的な河川整備の対象とする河道流量

計画雨量	洪水パターン	大滝ダム 調節	大滝地点 (m^3/s)	五條地点 (m^3/s)	橋本地点 (m^3/s)	船戸地点 (m^3/s)
伊勢湾×1.0(313mm)	S34.9	前	6,220	8,210	9,230	9,970
		後	2,500	4,780	5,760	6,640
伊勢湾×0.8(250mm)	S36.9	前	1,800	3,320	4,150	6,750
		後	1,800	3,320	4,150	6,750
伊勢湾×1.1(344mm)	S47.9	前	6,130	8,120	9,560	13,770
		後	2,500	4,960	6,320	10,500